

令和6年度 第1回 草津市文教施設・産業振興施設指定管理者選定評価委員会議事概要

開催年月日	令和6年10月7日(月)	開催時間	午前9時から 午前11時30分まで
出席者	①～⑤委員4名、施設担当職員2名、事務局4名、申請者		
傍聴者	①～⑤0人		
付議事項	指定管理者の候補者の選定に係る意見を求めることについて ①「志津まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定 ②「志津南まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定 ③「草津まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定 ④「笠縫まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定 ⑤「渋川まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定		
1 開会 2 委員・事務局の紹介 3 「草津市立地域まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定【非公募】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課より施設概要等説明</li> <li>①「志津まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者プレゼンテーション</li> <li>・質疑応答</li> <li>・採点(非公開)</li> </ul> </li> <li>②「志津南まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者プレゼンテーション</li> <li>・質疑応答</li> <li>・採点(非公開)</li> </ul> </li> <li>③「草津まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者プレゼンテーション</li> <li>・質疑応答</li> <li>・採点(非公開)</li> </ul> </li> <li>④「笠縫まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者プレゼンテーション</li> <li>・質疑応答</li> <li>・採点(非公開)</li> </ul> </li> <li>⑤「渋川まちづくりセンター」の指定管理者の候補者の選定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請者プレゼンテーション</li> <li>・質疑応答</li> <li>・採点(非公開)</li> </ul> </li> <li>①～⑤                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査・採決(非公開)</li> </ul> </li> </ul> 4 事務連絡 5 閉会			

◆令和7年3月31日で指定期間満了を迎える「草津市立地域まちづくりセンター」5施設（志津まちづくりセンター、志津南まちづくりセンター、草津まちづくりセンター、笠縫まちづくりセンター、渋川まちづくりセンター）において、申請のあった団体（以下「申請者」という。）が指定管理者として適任かどうか審議を行った。

## 1 担当課説明

施設概要や評価のポイント等について説明

## 2 申請者によるプレゼンテーションおよび質疑応答

### ①「志津まちづくりセンター」

◆志津まちづくり協議会（以下「協議会（志津）」という。）による申請内容の説明：略  
（以下 質疑応答）

<委員>：①役員が現在27名ということだが、他の地域を見ると数を絞っている傾向がある。今後、より経営的に判断する、議論の質を上げていくためには、人数を絞るという方向に舵を切る時期が来ていると考えられるが、役員構成のあり方について、今後5年間の展望を聞かせて欲しい。

②利用者が直近で24,300人と非常に多くの方が利用しているが、利用は高齢者に偏っていたのではないかと思われる。子どもの居場所づくりという事業が提案されているが、他にも若い世代（子育て世代など）に対してはどのように取り組むのか聞かせて欲しい。

③ホームページを拝見すると、色々な情報が掲載されているが、令和4年度から令和6年度までの事業計画だけ掲載されていない。何か理由があるのか。

<協議会（志津）>：①役員については、今後まちづくり計画を見直す中で、ある程度絞っていく方向で考えており、今年度・来年度の事業計画の見直しの中で具体的に考えていきたい。

②若い世代に対しては、指定管理業務とは別であるが、まちづくり協議会の事業として「楽座プロジェクト」というものを実施しており、子育て世代のお母さん方たくさん活動していただけるような事業を展開している。

③古い資料をホームページから削除するという趣旨であったが、誤りである。

### ②「志津南まちづくりセンター」

◆志津南学区まちづくり協議会（以下「協議会（志津南）」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：①ホームページについて、非常に力を入れて作成されているという印象があるが、事務局の中に専門の方がいるのか。

②利用者が19,000人前後で推移しているが、令和元年度には25,000人程度の利用がある。他の地域では、おおむね令和元年度の水準まで戻ってきている印象だが、大幅に減少したままの理由は何か。

③役員が現在24名ということだが、他の地域を見ると数を絞っている傾向がある。学区の再編という過去の経緯の話も出ていたが、役員の構成について今後の展望を聞かせて欲しい。

<協議会（志津南）>：①ホームページについては、昨年度、指定管理料とは別の地域課題解決応援交付金を活用し、リニューアルを行った。それまでのホームページは、発信力に欠けており、少し物足りないものであったが、職員でも簡単に投稿できるようなホームページにするため、外部に相談しつつリニューアルを行った。また、利用団体に対しても、プライバシーポリシーを厳守いただくという誓約書にサインをいただいた場合は、記事を作成いただく運用を行っている。作成いただいた記事は、こちらで最終確認し、問題なければそのまま掲載している。

②利用者については、コロナ禍以前から高齢化がかなり進んでおり、コロナ禍が落ち着いても、これまで利用されていた高齢者の利用がなかなか戻らない傾向がある。本学区は、縦に長い地域であり、センターは中心ではなく端（高齢者が多いエリア）に位置していることも影響していると考えている。今後は、これまでの利用者を大事にしながらも、新しい方々に参加いただけるようなイベント等を企画していかなければならないと考えている。

③役員については、御指摘のとおりであり、これからも各町内会から役員を出すとすると、担い手が居なくなる。来年度以降の組織をどう変えるかということは、喫緊の課題であり、まさに今議論しているところである。事業を見直し、必要なものを洗い出すことで、結果的に役員数も減ると考えている。

<委>：令和3年度決算において収支の差額が約120万円、令和4年度決算では約220万円、令和5年度決算では約200万円になっているが、なぜこのような差額が発生するのか。

<協議会（志津南）>：コロナ禍もあり事業の縮小や、勤務時間の短縮などを行ったことに伴い、人件費が予算額に対して大幅に少なくなったことが要因と考えている。

<委>：指定管理料は市民の税金で賄われているため、充実した事業展開に使っていただくべきものであると考える。余剰金が発生した場合、一定額は協議会の運営に充てても問題ないと思うが、他の学区を見ていると、発生した余剰金は次年度の指定管理料を充実させるために繰り越している場合もある。このような例を参考にいただいていると思う。

<担当課>：補足で説明させていただくと、指定管理料の収支の余剰金については、どこの学区もまちづくり協議会ということで、学区を代表する組織であるため、指定管理料で収益が出た場合に、自主財源に充てて地域に還元される事業に使われていると御理解いただきたい。まちづくりセンターの指定管理業務を充実する場合もあれば、まちづくり協議会として展開する事業で地元に戻元される場合もあると考えている。

### ③「草津まちづくりセンター」

◆草津学区ひと・まちいきいき協議会（以下「協議会（草津）」という。）による申請内容の説明：略

（以下 質疑応答）

<委員（以下「委」という。）>：①正規職員は置かずに、臨時職員4名という雇用体系になっているが、その理由は何か。

②今年度でまちづくり計画が最終年度を迎えると思うが、来年度以降のまちづくり計画の柱があれば教えて欲しい。

③役員が10名ということで、他の協議会と比べると少なく絞られており、自主的な議論ができていないのではないかと思うが、いかがか。

<協議会(草津)>: ①職員の構成については、在籍する職員の年数が比較的短く、正規職員に該当する方がおられないため、このような形になっている。

②次年度以降のまちづくり計画については、現在策定中であるが、これまでの5年間(令和2年度から令和6年度まで)の踏襲と、近年、防災意識が高まってきているため、消防団と町内会が連携した防災のまちづくりを進めていきたいと考えている。また、高齢化が進んでいる地域でもあるため、いかに若い世代を取り込んでいけるかが課題と感じている。

③役員については、地域の各種団体から代表者を選出して決めている。この各種団体については、センターの行事等についても、運営メンバーや実行委員会メンバーとして参画いただいているため、機動的に協力いただける体制であると感じている。

<委>: 町内会に入会される方は減ってきているのか。

<協議会(草津)>: 昔の家がリニューアルされて新築マンションが建つケースがあり、このマンションに入居する場合、町内会への入会が必須である場合とそうでない場合がある。必須でない場合は、なかなか入会いただけないケースが増えている。また、高齢化により、行事などに参加できないというような理由で退会されるケースも増えてきているため、どのように対応していくかが課題だと感じている。

#### ④「笠縫まちづくりセンター」

◆笠縫学区まちづくり協議会(以下「協議会(笠縫)」という。)による申請内容の説明:略(以下 質疑応答)

<委員>: ①「ツナガリ隊」という取組が、他の地域にはない特色だと感じるが、これはボランティアなのか、それとも有償なのか教えて欲しい。

②利用者の目標が15,000人ということだが、近年は15,000人前後で推移しているものの、令和元年度は、20,000人近くの利用者がおられた。このような中で、目標を15,000人と設定された理由・経緯について教えて欲しい。

<協議会(笠縫)>: ①「ツナガリ隊」については、ボランティアであり、40代前後の働く世代が中心であるため、活動は、夜間や土日がメインとなっている。

②利用者数については、20,000人を目標としたところではあるが、直近が15,000人程度で推移しているため、目標もこれに合わせたもの。

#### ⑤「渋川まちづくりセンター」

◆渋川学区まちづくり協議会(以下「協議会(渋川)」という。)による申請内容の説明:略(以下 質疑応答)

<委員(以下「委」という。)>: ①住民の意見を聴く提案箱があると聞いたが、まちづくり計画への反映について、状況を教えて欲しい。

②人材育成のところに、他のセンターと意見交換をしていきたいとの言及があるが、現在も実施しているのか、もしくはこれから実施していきたいということか。

<協議会(渋川)>: ①まちづくり計画策定に当たっては、全戸配布のアンケートを実施し、課題を抽出したうえで、計画に反映しているところである。提案箱については、

今のところ計画に反映するような内容は出てきていないことから、今回はアンケートにより意見をまとめている。

②現在は、センター長が他の学区のセンター長に相談している状況である。

<委>：センター長同士の意見交換も非常に大切ではあるが、職員同士の意見交換の場があれば、気付きや学び合いもあるため、今後検討願う。

<委>：資料では職員の配置は4名であると記されているが、先程の説明では5名と聞いた。どちらが正しいか。

<協議会（渋川）>：指定管理業務としては4名の配置であるが、地域まちづくり一括交付金を活用して他に1名配置しており、協議会としては5名の職員を配置している。

### 3 採決

各委員による採点の結果、全施設が最低基準点を上回っており、出席委員全員の賛成が得られたことから、指定管理者として各学区のまちづくり協議会を候補者とすることが適当であるとの結論に至った。